



ソウル登山観光 プカンサン(北漢山)センター

当センターではプカンサン(北漢山)に特化した情報をはじめ、プカンサン(北漢山)の登山コースなどをご案内しています。ぜひお越しください。ソウル登山観光ガイドブックや地図などもご用意しています。

所在地:ソウル市カンブク(江北区)サミヤンロ173ギル52、クワンリムビル5階
利用可能時間:09:00~18:00(毎週日曜日、ソルラルと秋夕の当日は休み) ☎ 82-1533-2608
※季節により利用可能時間が異なる場合がありますので、お越しになる前に必ず公式ホームページをご確認ください。

主なサービス

DPゾーンと韓屋ラウンジ

センター内に設けられたDPラウンジでお友だち、ご家族、お知り合いなどと一緒に楽しい思い出を作りましょう。またラウンジは、山登り前の準備や山登り後の休憩にご利用いただけます。



DPゾーン



ラウンジ

登山用品のレンタル

外国人の登山観光客の場合、登山靴、登山ウェア、トレッキングポール、登山リュックなどの登山装備をお得な価格でレンタルできます。事前にご予約いただくと、ご希望の装備を確保することもできます。



事前予約:www.seoulhiking.or.kr
レンタル用品:登山リュック、登山靴、登山ウェア(上下)、登山グローブ、トレッキングポールなど

その他のサービス施設



ロッカー



更衣室

TRAIL 05.

プカンサン(北漢山)で最高の風景が広がる場所 プカン(北漢)山城12城門 完走コース

総移動距離 14.4km 総所要時間 6時間 難易度 上級



プカン(北漢)山城は朝鮮の肅宗37年(1711)に首都の漢陽を防御するため、プカンサン(北漢山)の険しい自然地形を活用して築城された。距離が約11.6kmに達する。最高の難易度を誇る登山コースだが、頂上からは稜線が左右に広がるプカン(北漢)山で一番美しい風景を鑑賞できる。



ハイキング情報

プカンサン(北漢山)の主稜線にあるムンスボン(文殊峰)から西側に延びるウィサン稜線は、傾斜がきつく至る所に危険な場所があるため登山初心者には不向き。

休憩情報

プカン(北漢)山城12城門完走コースは体力の消耗が激しい方だ。6個の峰ごとに大きな岩があるため、十分に休憩をとりながら体力を温存する必要がある。

アクセス

3号線クバル駅2番出口を出て幹線バス704番に乗車後、プカンサン(北漢山城)入口停留所まで降り大西門の方向に900mほど歩いていくと右側にウィサンボン(義湘峰)方面に向かう小道がある。その道がウィサン稜線へと続く。

TRAIL 06.

朝を知らせる日の出の名所 トボンサン(道峰山)神仙 台コース

総移動距離 6.3km 総所要時間 2時間30分 難易度 上級



トボンサン(道峰山)の最高峰は紫雲峰(740.2m)だが、岩壁が険しく切り立っており登山は禁止されている。その代わりに、向かい側にあるシンソンドン(神仙台)がトボンサン(道峰山)の頂上の役目を担っている。このコースはシンソンドン(神仙台)までの距離が一番短く、朝焼けで赤く染まる空を鑑賞できる日の出の名所として有名。

ハイキング情報

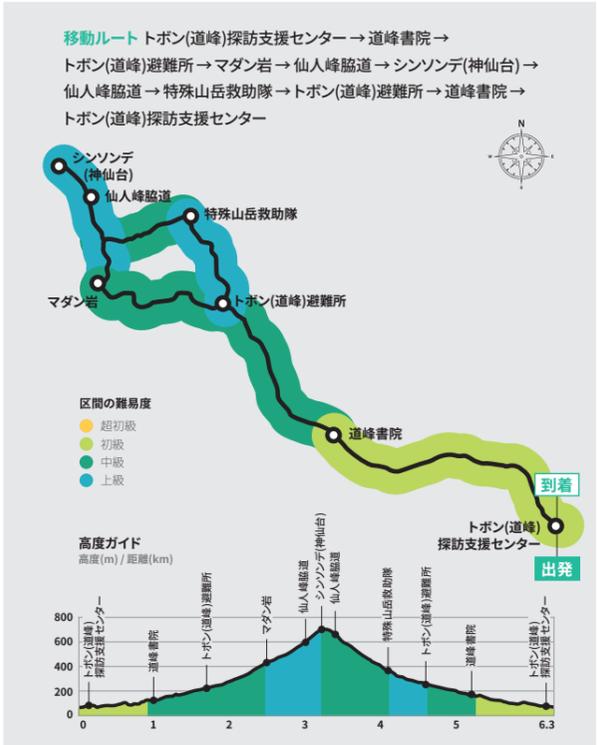
週末や休日になると、シンソンドン(神仙台)の頂上まで50mを残した地点で行列ができることがよくある。シンソンドン(神仙台)への登山は平日をお勧めする。

休憩情報

ソニン(仙人)休憩所で十分に休憩をとった後、シンソンドン(神仙台)の頂上を目指そう。頂上までの道のりは険しい岩壁で体力の消耗が激しい。

アクセス

1号線トボンサン駅1番出口を出た後、トボンサン駅交差路に向かって20分ほど歩くとトボン(道峰)探訪支援センターに到着する。



TRAIL 07.

稜線の下に広がる美しい秘境の中へ トボンサン(道峰山)主稜 線コース

総移動距離 9.32km 総所要時間 6時間 難易度 上級



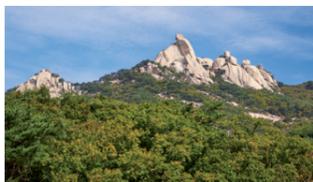
トボンサン(道峰山)主稜線は、牛耳南稜線と牛耳巖を越え、柱峰を経由してシンソンドン(神仙台)へと続く。比較的難易度の高いコースではあるが、途中まではそこまで険しくない。途中の望月寺から傾斜がきつくなる。稜線の頂上に着くと開けた視野の下に山と渓谷が調和を成す美しい秘境が広がる。



TRAIL 08.

自然に優しい散策コース プカンサン(北漢山) ドウルレ道:ウイリョン (牛耳嶺)道コース

総移動距離 6.42km 総所要時間 2時間 難易度 初級



南側にはプカンサン(北漢山)、北側にはトボンサン(道峰山)がある未舗装道路を散策しながら楽しめるプカンサン(北漢山)ドウルレ道の21区間。1968年の武装共産ゲリラによるチョンワデ(青瓦台)奇襲事件で民間人の出入りが全面禁止となったが、2009年7月から予約制で開放された。



ハイキング情報

ウイリョン(牛耳嶺)道は探訪前日までに予約した場合に限り入場可能。午前9時から午後4時まで入山でき、午後6時までには下山しなければならない。冬は午後3時以降は入山ができない。探訪支援センターで身分証明書を確認するため、必ず持参のうえ訪問すること。

※国立公園公園予約システム
https://reservation.knps.or.kr

休憩情報

ウイリョン(牛耳嶺)道は複数個所に休憩所があるため、休憩はもちろん飲食も可だ。

アクセス

ウイ新設線プカンサンウイ駅1番出口を出てウイリョン(牛耳嶺)森の文化村の方向に約2km歩いていくと、ウイリョン(牛耳嶺)道に入るウイリョン(牛耳嶺)探訪支援センターがある。

-ソウル登山観光-

プカンサン(北漢山) コース





TRAIL 01.

ソウルを一望できる
白雲台-ウイクゴク (牛耳九曲)コース

総移動距離 9.98km 総所要時間 4時間20分 難易度 上級

プカンサン(北漢山)の頂上である白雲台までの距離が一歩短いコース。白雲台に向かう途中にあるハル峠からヨンボン(雲峰)への登り坂は傾斜が非常に険しいが、海拔604mのヨンボン(雲峰)の頂上からは雄大な仁寿峰を正面から見る事ができる。標高835.6mの白雲台の頂上からは、360°パノラマでソウルの風景を鑑賞できる。

ハイキング情報

ハル峠から雲峰に登る道は傾斜がきつく墜落の危険がある区間もある。トレッキングポール、グローブなどの安全道具を準備し、道に沿って設置された手すりにつかまって登ろう。

休憩情報

途中には休憩所がないため、ハル峠で十分に休息をとった後、白雲台に向かう。

アクセス

牛耳新設線の終着駅である北漢山牛耳駅2番出口を出てソウル登山観光センター(北漢山)の方向へ徒歩で5分程度。北漢山牛耳駅からベグン(白雲)探訪支援センターまではタクシーで行く方法もある。

ソウル登山観光センター(北漢山)
ソウル市カンパク区サミョンロ173-ギル52-5階
82-1533-2608 seoulhiking.or.kr

TRAIL 02.

登山客が一番人気があるルート
プカン(北漢)山城-大南門コース

総移動距離 10.2km 総所要時間 4時間10分 難易度 上級

美しい景観を楽しみながら遺跡スポットも探訪でき、多くの登山客が訪れるコース。プカン(北漢)山城の主要な城と行宮跡を通ることができ、外国人にも人気がある。四季を通じて美しい野花在咲く。

ハイキング情報

プカン洞歴史館から中城門と龍岩門を通りマンギョンド(万景台)の方に迂回すると、距離は遠のくが傾斜が比較的緩やかになり、(ベグン・アンムン)白雲峰暗門から白雲台までの道のりがぐっと楽になる。

休憩情報

傾斜が険しい登り坂と下り坂を10km以上歩かなければならないため、1時間ごとに10分程度の休憩をとりながら歩くことをお勧めする。大同寺を通り薬水庵にある休憩所で体力を温存した後、登山に臨む方がいい。

アクセス

3号線のクバル駅2番出口から出て市内バス704番に乗り、プカン(北漢)山城入口で下車する。

TRAIL 03.

歴史の痕跡を訪ねる登山
サモバウイ(紗帽岩)-ピボン(碑峰)コース

総移動距離 6km 総所要時間 3時間 難易度 中級

プカンサン(北漢山)の美しい渓谷と澄んだ空を楽しむのもってこいの区間。また新羅真興王巡狩碑や南派武装共産ゲリラの金新朝一党の侵入路の痕跡を見ることができ、歴史的な価値を有する。山の頂上からは四方に広がる絶景を鑑賞できる。

ハイキング情報

スंगा(僧伽)寺から石道に登ると出てくる三角の交差点で、左側に進むとピボン(碑峰)が、右側に進むとサモバウイ(紗帽岩)がある。ピボン(碑峰)からサモバウイ(紗帽岩)に行くためには来た道をだいたい戻らなければならないため、サモバウイ(紗帽岩)に行った後でピボン(碑峰)に行くのを勧める。

休憩情報

スंगा(僧伽)寺に向かう渓谷沿いの道には、プカンサン(北漢山)の頂上から流れる清らかに澄んだ水が溜まり小さな池が形成されている。途中で疲れたときは水辺に座って休憩しよう。

アクセス

3号線のブルグァン駅前のバス乗り場から市内バス7212番に乗り、スंगा(僧伽)寺入口で下車する。

TRAIL 04.

心まで穏やかになる寺院紀行
サムチョン(三千)寺コース

総移動距離 7.33km 総所要時間 2時間40分 難易度 上級

登山の出發地と到着地が千年の歴史を持つ寺院に繋がる区間。サムチョン(三千)寺は新羅時代の661年、津寛寺は高麗時代の1011年に創建された。登山の途中にある寺院では、小休憩をしながら心まで穏やかなひと時を過ごせる。

ハイキング情報

サモバウイ(紗帽岩)から津寛寺方面への下山路は傾斜がきついため、手すりやチェーンにつかまって下山しなければならない。津寛寺の溪谷に沿って下山する道は至る所に崖があり、特別な注意が必要だ。

休憩情報

サムチョン(三千)寺の磨崖釈迦如来立像前の板石に座って休んだり、津寛寺内にある喫茶店で伝統茶を味わいながら休憩できる。

アクセス

3号線のクバル駅3番出口を出て市内バス7723番に乗り、7つの停留所を移動後、ハナ高・サムチョン(三千)寺・津寛寺入口で下車する。

